

募集

公民館主催事業 新規・継続事業促進 アンケートのご協力のお知らせ

平素より公民館主催事業にご参加いただき、誠にありがとうございます。この度、公民館の活性化と地域住民の皆様の学習機会の充実を図るため、皆様のご意見を伺いたく、アンケート調査を実施することとなりました。公民館は、地域住民の皆様が生涯にわたって学習し交流できる場です。ぜひ、QRコードからアンケートにご回答いただきますようよろしくお願いいたします。



QRコードアンケート用

花や葉に趣き異にす木の芽時 薄氷を割りて溶すや朝の空 風花やちらりほらりと舞ひ降れる 山寺の枝垂れ梅咲く涅槃講 朝市に白独活の箱積み上る 山育ち翠き独活なら粕漬に 茹で加減気を配りつつ独活なりし 幼き日涅槃団子を待ちに待つ 山独活や草を掻き分け汗の義父 涅槃講や釈尊入滅修しけり

紵泉の郷俳句会 「涅槃」と「独活」

野尻茂信 山岸峰隆 山内美代子 野尻主税 吉田ひろ子 菊川愛乃 笠島慧子 市村伊津子 田中弘子 山岸世詩明

お知らせ

公民館休館日のお知らせ

新年度より「振替休日」が休館日になります

公民館の休館日について、令和6年4月より祝日と日曜日が重なった場合の「振替休日」については、原則休館とさせていただきます。施設ご利用の皆さまには大変ご不便をお掛けしますが、何卒ご協力とご理解をお願いします。

振替休日

- 令和6年8月12日(月)：山の日の振替
令和6年9月23日(月)：秋分の日の振替
令和7年2月24日(月)：天皇誕生日の振替

4月行事予定表

Table with 4 columns: Date, Day, Event Name, and Status (e.g., 休館日). Rows include events like '近松おどり保存会', 'スポーツ協会：総会', '子ども学習会', etc.

A 防災クイズの答え

阪神・淡路大震災では、海岸低地や緩扇状地といった軟弱層の堆積している地域での被害が多かったです。これは、地盤が軟弱なほど震動が増幅され、ユサユサと揺れるからです。木造住宅の構造や付近の地形によっても違いますが、軟弱地盤では、地盤の硬い地域に比べて数倍以上にも震動が増幅するという研究成果もあります。

早めの判断と行動を

立待

3月1日現在
立待地区人口：8,616人
前月比 7人 減
世帯数：3,244世帯
前月比 3世帯 増



ぶらり

4月号
立待公民館
〒916-0005
鯖江市杉本町702-2
TEL: 0778-51-3376
FAX: 0778-51-8416



ホームページ

ちいきの出来事

立待地区防災協議会 主催 学び 講演会：近年の災害からわたしたちの出来ること。

立待地区防災協議会は、2月25日(日)に立待公民館において「近年の災害からわたしたちの出来ること」と題して、福井大学名誉教授 酒井明子先生の講演会を開催しました。約100人が参加した講演会では「もしも」のために今できること、災害をイメージし、出来ることをできる形で、地域の小さな力でみんなの力を合わせて、防災意識を高めました。現在、教授は被災地である珠洲市に向いて支援活動をおこなっています。また、2018年頃から地震回数が増加傾向にある能登半島において、2023年5月に珠洲市で発生した地震後、被災者支援と調査活動を行っていました。



【活動内容】

- 被災状況の把握
被災者への個別支援
被災者の生活環境と健康管理に関する調査など



酒井教授は、災害時の行政への過信は禁物！ 地域コミュニティと情報が鍵を握っていますとのことです。

1. 地域コミュニティこそ重要！

発災直後、市役所に行けた職員は一人だけ。行政も被災者であり、頼りすぎは危険。日頃から地域コミュニティを強化し、協力体制と独自の情報網を構築することが重要。

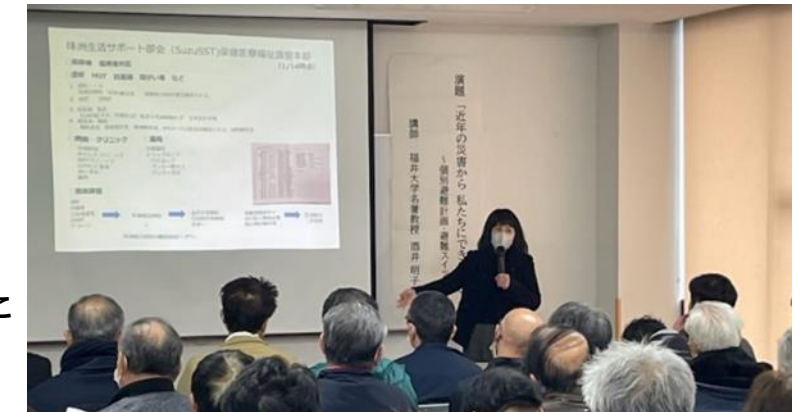
2. 災害関連死を防ぐ避難所環境

地域コミュニティや避難者のカテゴリーごとに区分けし、適切なレイアウトで避難所運営。正確な情報伝達、トイレや電源確保など、快適な避難所環境を整備。

3. 一人暮らしや高齢者への個別避難計画

災害時の避難手段を事前に明確にし、安全確保をサポート。など、災害時の被害を少しでも抑える重要性を述べていました。

参加した方々は、教授の発表内容に感銘を受け、今後の防災対策について真剣に考えるきっかけとなりました。



立待地区防災協議会 藤田会長より



突発型災害と進行型災害とは違いますが、いつ、どこで起こるかわからない災害に対して、自分の住んでいる地域環境やハザードを理解し、自らが情報を入手し判断し、避難スイッチを入れ、早めの避難を心がけることが重要です。

社会教育研究集会 開催 教育による接続可能なまちづくり

2月24日（土）に鯖江市文化センターで開催された社会教育研究集会。市教育委員会が主催し、市内社会教育の1年間を振り返り、**来年度に向けた展望を語り合う場**となりました。

集会では、アトラクションや社会教育に多大な功績を残した方の表彰、そして現在行われている実践活動発表が行われ持続可能なまちづくりを目指す取り組みとして、子どもたちを巻き込んだ事業や学校の授業と連携した事業などが紹介されました。

また、**市民力・地域力を底上げする社会教育・生涯学習**をテーマとしたトークセッションも行われました。斎藤教育長をはじめ、市内社会教育に携わる方々が実際に取り組んだ例を挙げながら、今後の社会教育の在り方について**活発な議論が交わされました**。来場者も意見交換に参加し、社会教育の重要性を再認識する機会となりました。

【社会教育施設協力者の部】 長谷川英樹 さん(石田上町)



立待公民館協力委員として、平成24年から長きにわたり公民館事業や地区事業に積極的、献身的に参画され、交流促進や周囲に細やかな配慮をしながら率先して活動をされています。

【社会教育体育の部】 岡田勝之さん(東米岡2丁目)



スポーツ協会にて、平成19年からバスケットボールの種目理事に就任し、平成23年から総務理事も兼務し17年の永きにわたりバスケットの振興を広めています。



PR 京都南座で近松の里たちまちをPR中に 歌舞伎俳優中村吉太郎さんが激励に

近松没後300年「三月花形歌舞伎」が上演されている南座で、3月16日（土）に近松の里たちまちをPRしてきました。

会場では、文化課と鯖江観光協会と共同で物販を行ったほか、「ちかもんくん」も登場し「みなみーな」「はぴりゅうくん」と一緒に来場者のお出迎えを行いました。**サプライズで4世坂田藤十郎のお孫さん**で歌舞伎俳優の中村吉太郎さんも鯖江のブースを訪れ、激励をいただきました。

公演期間中は「見聞録近松の里たちまち」など近松や鯖江市に関するガイドブックやチラシも配布、さすが近松ゆかりの京都人・歌舞伎ファンの反応は上々でした。

今回のPR活動を活かして、さらに多くの人に**近松の里たちまちの魅力を知ってもらいたい**と思います。



子育て支援ネットワーク委員会

子育て お楽しみ会を開催しました♪

立待子育て支援ネットワークNWは、保育園に行くまでの**小さな子どもと家族が集う活動**を立待公民館で定期的に実施しています。誕生6か月を祝うハーフバースデーや週一回の遊び場、親子での運動や子どもの成長や暮らしについての座学もあります。集まった**子育ての家族が交流できる場**にもなっています。

3月は「お楽しみ会」を開き、音楽にあわせて手遊びやお部屋を散歩して**こんにちわ！とおしゃべり**をしたり、絵本を見たりして楽しく過ごしました。最後には参加した子どもたちの成長と春から保育園に行くお友達のお祝いも兼ねて**メダルをプレゼント**しました。もうすぐ春！**新しい出会いが楽しみです**。



お祝いのメダルどれにしようかな？

たちまち近松人形劇団お楽しみ会

どら焼き「ポーノ」夢菓房の先生と作る特製どら焼き！

3月10日（土）たちまち近松人形劇団のお楽しみ会が立待公民館で開催されました。講師に「ポーノ」夢菓房の方々をお招きし、どら焼き作りやおにぎりをにぎったり、飴すくいを楽しみ、**1年間を振り返る日**でもありました。

ふんわり甘い香り、こんがり焼き色の生地

講師の指導の元、子どもたちは生地を混ぜ、ホットプレートで焼きました。**部屋いっぱいに広がる甘い香りの中、こんがり焼き色のどら焼きが次々と完成**していきます。



どら焼きに「ふたばあおい」の焼印をつけました



オリジナル特製「ふたばあおい」焼印

焼き上がったどら焼きには「ふたばあおい」の焼印を「ジュッ」と押ししました。**世界に一つだけのオリジナルどら焼きに、子どもたちは大喜び**です。焼き立てのどら焼きやおにぎりを手に、笑顔で談笑していました。

主催：福井県食生活改善推進員連絡協議会

今日の1品

大豆入りミネストローネスープ

- ゆで大豆 80g □カットトマト缶 200g
- ベーコン 30g □にんにく 4g
- にんじん 40g □オリーブ油 小サジ2
- 玉ねぎ 200g □コンソメスープの素 8g
- じゃがいも 60g □水 600cc
- キャベツ 120g □こしょう 少々

【作り方】

- ① ベーコンと野菜は1cmぐらいの角切りにする。
- ② にんにくは、みじん切りにする。
- ③ 鍋にオリーブ油とにんにくを入れ火にかける。
- ④ 野菜がしんなりしてきたら、水・大豆・トマト缶・コンソメの素を加え、中火で煮る。
- ⑤ 野菜がやわらかくなったら、こしょうで味をととのえる。

2月25日(日)、小学生を対象にした料理教室をしました。

予定では、地域の食改員とその子供たち17人ほどで、実施する予定でしたが、インフルエンザ蔓延のため、大人4人小学生2人の6人の実施となりました。まるで、バァバ4人とひ孫2人の感でしたが、大豆を中心に使用した体にやさしいメニュー4品を作りました。

2人の男子小学生、心配でしたが手順よく野菜なども切ってくれて「**とっても楽しかった。特に、きなこ棒のデザートがおいしかった**」と感想を言ってくれました。「**食べる**」ことは自分を「**つくる**」こと。食べることは、とても大切なこと。少しでもわかって下さったのなら、幸いです。

防災クイズ

4月は、冷たい冬の空気と暖かい春の空気が日本付近に同居しています。ちょっと思い出してみましょう…

4月は、雪が降った日もあれば、夏日になることもありますよね。春先は、他の季節に比べて**気温差が大きく、強い北風・南風が吹きやすくなり、急速に発達する低気圧が多くなります**。暴風が吹いているときは飛散物でケガをする危険性もありますので外出は控えましょう。

引用先：KOBÉ防災ポータルサイト
防災クイズ中級編



Q 硬い地盤と柔らかい地盤では、硬い地盤の方がよく揺れる。
○でしょうか？×でしょうか？

答え： 答えは裏面です



「O、×」の選択クイズだよ